



2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年2月8日

上場会社名 株式会社ディー・エヌ・エー 上場取引所 東
 コード番号 2432 URL <https://dena.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 岡村 信悟
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 本部長 (氏名) 大谷 駿明 (TEL) 03(6758)7200
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	101,395	2.3	5,056	△67.5	11,949	△63.3	7,282	△73.0	7,287	△72.7	173	△99.0
2022年3月期第3四半期	99,130	△3.7	15,565	△38.5	32,566	6.7	26,940	17.9	26,666	21.6	16,987	△67.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	62.51	62.45
2022年3月期第3四半期	223.69	223.45

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分合計	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	338,967	234,661	224,400	66.2
2022年3月期	340,570	244,907	240,626	70.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	39.00	39.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 2023年3月期の配当予想は未定です。

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

2023年3月期の連結業績予想につきましては合理的な数値の算出が困難であるため、開示を見合わせておりますが、当第3四半期連結累計期間までの実績を踏まえ、前期比増収、また、一時損益を除く営業利益の同減益を見込んでおります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) 株式会社データホライゾン、除外 1社

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期3Q	130,210,945株	2022年3月期	130,210,945株
2023年3月期3Q	17,767,597株	2022年3月期	11,674,919株
2023年3月期3Q	116,572,424株	2022年3月期3Q	119,210,503株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式 (2023年3月期3Q : 178,871株、2022年3月期 : 191,158株) を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 連結業績予想に関して

本資料における将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

- (2) 配当予想金額に関して

2023年3月期の配当予想につきましては、業績の進捗等を総合的に勘案して金額を決定する予定です。決定次第、速やかに開示いたします。

- (3) 決算補足資料の入手方法

当社は、2023年2月8日に機関投資家・アナリスト・報道機関向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料は、当四半期決算短信の適時開示後、当社ホームページに掲載いたします。また、決算説明会の動画、主な質疑応答等については、後日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 継続企業的前提に関する注記	11
(7) 要約四半期連結財務諸表注記	11
① セグメント情報	11
② 1株当たり利益	14
③ 重要な後発事象	14

1. 経営成績・財政状態の概況

(1) 経営成績の概況

当社グループは、中長期で企業価値を向上させるべく、エンターテインメント領域と社会課題領域の2つの領域の特徴を活かした収益基盤の形成、及び両領域のシナジー形成を含めたIT企業の新しい進化の体現、また、一層強い事業ポートフォリオ実現に向けて取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年12月31日まで)において、売上収益は、101,395百万円(前年同期比2.3%増)となりました。前年同期比で、ゲーム事業は減収となったものの、スポーツ事業が回復し、ライブストリーミング事業が成長しました。

売上原価については、53,057百万円(前年同期比9.7%増)となりました。ライブストリーミング事業やゲーム事業の推移等に応じて変動する支払手数料が増加するとともに、前年第2四半期連結累計期間以降のゲームの新規タイトルリリース及び当第3四半期連結累計期間のヘルスケア・メディカル事業における新規連結に伴い、人件費が増加しました。

販売費及び一般管理費は、43,626百万円(前年同期比4.4%増)となりました。主にライブストリーミング事業における販促費・広告費の増加、また、ヘルスケア・メディカル事業における新規連結に伴う人件費の増加があった一方、ゲーム事業の推移に応じ、支払手数料が減少しました。

その他の収益・費用(純額)は、343百万円の利益(前年同期比94.8%減)となりました。前年同期には、株式会社IRIAMの全株式を取得したことによる段階取得に係る差益や、主に株式会社横浜DeNAベイスターズの営業休止に伴う損失補償金等をその他の収益に計上しております。

持分法による投資利益は、231百万円(前年同期比98.2%減)となりました。前年同期比では、主な持分法適用関連会社である株式会社Cygames等の業績動向や、前年同期には株式会社Mobility Technologiesにおける第三者割当増資による一時収益を計上していたこと等が主な変動要因となりました。

以上の結果、当社グループの売上収益は101,395百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益は5,056百万円(同67.5%減)、税引前四半期利益は11,949百万円(同63.3%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は7,287百万円(同72.7%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間より、従来「ヘルスケア事業」としていた報告セグメントの名称を「ヘルスケア・メディカル事業」に変更しております。

①ゲーム事業

ゲーム事業の売上収益は46,825百万円(前年同期比16.4%減)、セグメント利益は5,620百万円(同34.1%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間は、既存のタイトルを中心とした事業運営となり、ユーザ消費額は前年同期比で減少し、前年同期比で減収減益となりました。当連結会計年度内のリリースを予定していた新規タイトルの中には一部遅れるものもでておりますが、収益基盤の強化に向けては、新規タイトルの仕込み・リリースと、費用構造の筋肉質化や固定費の最適化に引き続き取り組んでおります。

②ライブストリーミング事業

ライブストリーミング事業の売上収益は29,823百万円(前年同期比16.1%増)、セグメント損失は487百万円(前年同期は3,472百万円の利益)となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、国内の「Pococha(ポコチャ)」が引き続き堅調に推移しました。また、グローバル版の「Pococha」や、キャラクターの姿でライブ配信を楽しめる「IRIAM(イリアム)」も含め、ライブストリーミング事業では、適切にコントロールしつつ、成長投資を行いました。

③スポーツ事業

スポーツ事業の売上収益は18,836百万円(前年同期比53.6%増)、セグメント利益は2,780百万円(前年同期は579百万円の損失)となりました。

新型コロナウイルス感染症の動向には注視が必要であるものの、観客動員の制約等を要した前年同期と比較し、業績は大きく回復しました。

④ヘルスケア・メディカル事業

ヘルスケア・メディカル事業の売上収益は3,807百万円（前年同期比78.4%増）、セグメント損失は1,831百万円（前年同期は421百万円の損失）となりました。

当社は、中長期の成長機会を積極的に捉えるべく、新たな成長・挑戦に向けたM&A等を進めてまいりましたが、当該事業においては、当連結会計年度中に、事業ポートフォリオの強化が大きく進捗しました。2022年8月3日には株式会社データホライズンが、2022年10月3日には株式会社アルムがそれぞれ当社の連結子会社となり、以降、各社の業績を当該事業の業績に含んでおります。

⑤新規事業・その他

新規事業・その他の売上収益は2,158百万円（前年同期比30.2%減）、セグメント損失は601百万円（前年同期は116百万円の損失）となりました。

当区分には、中長期での事業ポートフォリオの強化を目指した各種取り組みやEC事業におけるサービス等を含んでおります。

(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況

①財政状態

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は338,967百万円（前連結会計年度末比1,603百万円減）となりました。

流動資産は128,311百万円（同17,891百万円増）となりました。主な増加要因は現金及び現金同等物が24,429百万円増加したこと等によるものであります。

非流動資産は210,655百万円（同19,494百万円減）となりました。主な増減要因はその他の長期金融資産が56,863百万円減少したこと及びのれんが31,972百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は104,306百万円（同8,643百万円増）となりました。

流動負債は74,899百万円（同18,874百万円増）となりました。主な増加要因は借入金が16,527百万円増加したこと等によるものであります。

非流動負債は29,407百万円（同10,231百万円減）となりました。主な減少要因は繰延税金負債が10,558百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は234,661百万円（同10,246百万円減）となりました。主な増減要因は利益剰余金が29,285百万円増加したこと及びその他の資本の構成要素が33,720百万円減少したこと等によるものであります。

流動性に関する指標としては、当第3四半期連結会計期間末において流動比率171.3%、親会社所有者帰属持分比率66.2%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ24,429百万円増加し、102,726百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は9,875百万円（前年同期は14,780百万円の収入）となりました。主な収入要因は税引前四半期利益11,949百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は16,309百万円（前年同期は16,670百万円の支出）となりました。主な収入要因は有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入50,090百万円、主な支出要因は子会社又はその他の事業の取得による支出25,416百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2,725百万円（前年同期は18,378百万円の支出）となりました。主な収入要因は借入による収入16,500百万円、主な支出要因は自己株式の取得のための支出13,057百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、合理的な数値の算出が困難であるため、開示を見合わせておりますが、当第3四半期連結累計期間までの実績を踏まえ、前期比増収、また、一時損益を除く営業利益の同減益を見込んでおります。

期初に想定しておりました見通し及び各事業の動向等の業績変動要因につきましては、2022年5月10日に公表しました「2022年3月期決算短信〔IFRS〕(連結)」の「1. 経営成績・財政状態の概況(1) 当期の経営成績の概況(次期の見通し)」に記載のとおりであります。当第3四半期連結累計期間までの実績は、エンターテインメント領域を中心に期初の想定を下回る進捗となっております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	78,296	102,726
売掛金及びその他の短期債権	24,463	18,801
その他の短期金融資産	237	656
その他の流動資産	7,424	6,128
流動資産合計	110,420	128,311
非流動資産		
有形固定資産	2,380	3,045
使用権資産	18,099	17,210
のれん	17,451	49,423
無形資産	13,148	16,020
持分法で会計処理している投資	55,893	57,963
その他の長期金融資産	122,205	65,343
繰延税金資産	539	1,035
その他の非流動資産	433	617
非流動資産合計	230,150	210,655
資産合計	340,570	338,967

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	19,263	14,833
借入金	20,022	36,549
リース負債	1,601	1,441
未払法人所得税	639	11,855
引当金	2,480	1,914
その他の短期金融負債	641	1,138
その他の流動負債	11,378	7,169
流動負債合計	56,025	74,899
非流動負債		
借入金	124	835
リース負債	6,522	6,146
引当金	225	220
その他の長期金融負債	357	442
繰延税金負債	31,987	21,429
その他の非流動負債	423	335
非流動負債合計	39,638	29,407
負債合計	95,663	104,306
資本		
資本金	10,397	10,397
資本剰余金	16,077	15,649
利益剰余金	177,997	207,282
自己株式	△22,819	△34,183
その他の資本の構成要素	58,975	25,255
親会社の所有者に帰属する持分合計	240,626	224,400
非支配持分	4,280	10,261
資本合計	244,907	234,661
負債及び資本合計	340,570	338,967

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	99,130	101,395
売上原価	△48,359	△53,057
売上総利益	50,770	48,338
販売費及び一般管理費	△41,790	△43,626
その他の収益	7,014	813
その他の費用	△429	△470
営業利益	15,565	5,056
金融収益	4,562	6,810
金融費用	△660	△148
持分法による投資損益 (△は損失)	13,098	231
税引前四半期利益	32,566	11,949
法人所得税費用	△5,625	△4,667
四半期利益	26,940	7,282
以下に帰属する四半期利益 (損失)		
四半期利益：親会社の所有者に帰属	26,666	7,287
四半期利益 (損失)：非支配持分に帰属	274	△4
合計	26,940	7,282
(単位：円)		
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	223.69	62.51
希薄化後1株当たり四半期利益	223.45	62.45

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	26,940	7,282
その他の包括利益		
純損益に振り替えられないその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
資本性金融商品への投資による利得(損失) (税引後)	△9,798	△7,240
純損益に振り替えられないその他の包括利益の 内訳項目(税引後)合計	△9,798	△7,240
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
為替換算差額(税引後)	△65	16
キャッシュ・フロー・ヘッジ	-	115
その他	△89	0
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)合計	△155	132
その他の包括利益(税引後)	△9,953	△7,109
四半期包括利益合計	16,987	173
以下に帰属する四半期包括利益		
四半期包括利益：親会社の所有者に帰属	16,714	159
四半期包括利益：非支配持分に帰属	274	14
合計	16,987	173

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2021年4月1日残高	10,397	16,282	151,747	△15,061	60,346	223,711	4,948	228,659
四半期利益	-	-	26,666	-	-	26,666	274	26,940
その他の包括利益	-	-	-	-	△9,953	△9,953	△1	△9,953
四半期包括利益合計	-	-	26,666	-	△9,953	16,714	274	16,987
所有者への分配として認識した 配当	-	-	△3,906	-	-	△3,906	△661	△4,567
自己株式取引による増加(減少)	-	△90	-	△10,589	△201	△10,880	-	△10,880
株式交換による変動	-	6	-	2,831	-	2,837	-	2,837
株式報酬取引による増加(減少)	-	27	-	-	104	131	-	131
利益剰余金から資本剰余金への 振替	-	57	△57	-	-	-	-	-
非支配持分の取得及び処分等	-	△208	-	-	-	△208	512	304
子会社の支配喪失に伴う変動	-	-	-	-	-	-	△615	△615
振替及びその他の変動による 増加(減少)	-	0	△319	-	304	△16	72	56
2021年12月31日残高	10,397	16,074	174,131	△22,819	50,600	228,383	4,530	232,913

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2022年4月1日残高	10,397	16,077	177,997	△22,819	58,975	240,626	4,280	244,907
四半期利益又は四半期損失(△)	-	-	7,287	-	-	7,287	△4	7,282
その他の包括利益	-	-	-	-	△7,128	△7,128	19	△7,109
四半期包括利益合計	-	-	7,287	-	△7,128	159	14	173
所有者への分配として認識した 配当	-	-	△4,623	-	-	△4,623	△186	△4,809
自己株式取引による増加(減少)	-	△59	-	△13,002	△4	△13,065	-	△13,065
株式交付による変動	-	△84	-	1,638	-	1,554	-	1,554
株式報酬取引による増加(減少)	-	34	-	-	98	132	-	132
利益剰余金から資本剰余金への 振替	-	102	△102	-	-	-	-	-
非支配持分の取得及び処分等	-	△314	-	-	-	△314	889	575
子会社の支配獲得に伴う変動	-	-	-	-	54	54	5,221	5,275
振替及びその他の変動による 増加(減少)	-	△107	26,724	-	△26,740	△123	41	△82
2022年12月31日残高	10,397	15,649	207,282	△34,183	25,255	224,400	10,261	234,661

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	32,566	11,949
減価償却費及び償却費	4,148	3,965
事業分離における移転利益	△197	-
関係会社株式売却益	△1,286	-
減損損失	299	-
有価証券損益(△は益)	424	△3,067
受取利息及び受取配当金	△3,717	△3,146
支払利息	65	108
持分法による投資損益(△は益)	△13,098	△231
段階取得に係る差損益(△は益)	△2,273	335
売掛金及びその他の短期債権の増減額(△は増加)	7,809	7,558
買掛金及びその他の短期債務の増減額(△は減少)	△4,094	△6,176
前受金の増減額(△は減少)	△5,576	△5,569
その他	△2,188	1,480
小計	12,881	7,206
配当金受取額	3,697	3,140
利息支払額	△51	△80
利息受取額	22	44
法人所得税支払額	△1,922	△1,428
法人所得税還付額	153	993
営業活動による正味キャッシュ・フロー	14,780	9,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
子会社又はその他の事業の取得による収入	232	-
子会社又はその他の事業の取得による支出	△11,526	△25,416
子会社又はその他の事業の売却による収入	1,074	-
子会社又はその他の事業の売却による支出	△1,037	-
関連会社株式の取得のための支出	△309	△1,590
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	72	50,090
有価証券及び投資有価証券の取得のための支出	△3,226	△1,783
有形固定資産の取得	△330	△351
無形資産の取得	△4,233	△4,603
資産除去債務の履行による支出	△1,818	△104
敷金及び保証金の回収による収入	4,207	236
その他	225	△171
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△16,670	16,309
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	-	16,500
借入金の返済	△9	△326
リース負債の返済	△2,953	△1,564
配当金支払額	△3,906	△4,623
非支配持分からの払込による収入	-	500
非支配持分への配当金の支払額	△661	△188
自己株式の処分による収入	20	34
自己株式の取得のための支出	△10,868	△13,057
財務活動による正味キャッシュ・フロー	△18,378	△2,725
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20,268	23,459
現金及び現金同等物の期首残高	97,301	78,296
現金及び現金同等物の為替変動による影響	328	970
現金及び現金同等物の四半期末残高	77,362	102,726

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 要約四半期連結財務諸表注記

① セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループは、主にモバイル・PC向けのインターネットサービスを提供しており、サービスの種類別に事業部門等を設置しております。各事業部門等は、取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、サービスの種類別のセグメントから構成されており、「ゲーム事業」、「ライブストリーミング事業」、「スポーツ事業」、「ヘルスケア・メディカル事業」の4つを報告セグメントとしております。

なお、第2四半期連結会計期間より、従来「ヘルスケア事業」としていた報告セグメントの名称を「ヘルスケア・メディカル事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の名称で記載しております。

各セグメント区分に属するサービスの種類は、以下のとおりであります。

セグメント区分	サービスの種類
ゲーム事業	モバイル向けゲーム関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： ゲームアプリの配信、「Mobage（モバゲー）」等
ライブストリーミング事業	ライブストリーミング関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： 「Pococha（ポコチャ）」、「IRIAM（イリアム）」等
スポーツ事業	スポーツ関連サービス（日本国内） 主要サービス： 「横浜DeNAベイスターズ」、「横浜スタジアム」の運営、「川崎ブレイブサンダース」等
ヘルスケア・メディカル事業	ヘルスケア・メディカル関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： ヘルスビッグデータ関連サービスの提供、「Join（ジョイン）」をはじめとする医療DX関連サービス、「MYCODE（マイコード）」等
新規事業・その他	新規事業及びその他サービス（日本国内） 主要事業領域： EC事業、その他の新規事業等

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

報告セグメントの会計方針は、2022年3月31日に終了した連結会計年度に係る連結財務諸表で記載している当社グループの会計方針と同一であります。

報告セグメント間の売上収益は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間

(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位：百万円)

	ゲーム事業	ライブスト リーミング 事業 (注) 2	スポーツ 事業	ヘルスケア ・メディカ ル事業	新規事業 ・その他 (注) 3	調整額 (注) 4	合計
売上収益							
外部顧客からの売上収益	55,991	25,689	12,238	2,134	3,077	—	99,130
セグメント間の売上収益	13	—	26	—	13	△51	—
計	56,003	25,689	12,264	2,134	3,090	△51	99,130
セグメント利益(損失) (注) 1	8,531	3,472	△579	△421	△116	△1,907	8,981
その他の収益・費用(純額)							6,585
営業利益							15,565
金融収益・費用(純額)							3,902
持分法による投資損益(△は損失)							13,098
税引前四半期利益							32,566

(注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 2021年8月2日付で、「IRIAM(イリアム)」を運営する株式会社IRIAMの全株式を取得し、同社は当社の連結子会社となったため、当該サービスを第2四半期連結累計期間より「ライブストリーミング事業」に含めております。

3 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IP創出プラットフォーム事業・EC事業・その他の新規事業等を含んでおります。なお、IP創出プラットフォーム事業に属する「エブリスタ」を運営していた株式会社エブリスタの全保有株式を、2021年12月14日付で株式会社メディアドゥに譲渡いたしました。

4 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間

(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	ゲーム事業	ライブスト リーミング 事業	スポーツ 事業	ヘルスケア ・メディカ ル事業 (注) 2	新規事業 ・その他 (注) 3	調整額 (注) 4	合計
売上収益							
外部顧客からの売上収益	46,800	29,823	18,819	3,805	2,149	—	101,395
セグメント間の売上収益	25	—	17	2	9	△53	—
計	46,825	29,823	18,836	3,807	2,158	△53	101,395
セグメント利益(損失) (注) 1	5,620	△487	2,780	△1,831	△601	△768	4,712
その他の収益・費用(純額)							343
営業利益							5,056
金融収益・費用(純額)							6,661
持分法による投資損益(△は損失)							231
税引前四半期利益							11,949

(注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 2022年8月3日付で、株式会社データホライズンを当社の連結子会社といたしました。これにより、第2四半期連結累計期間より同社の業績を「ヘルスケア・メディカル事業」に含めております。

2022年10月3日付で、株式会社アルムを当社の連結子会社といたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間より同社の業績を「ヘルスケア・メディカル事業」に含めております。

3 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業・その他の新規事業等を含んでおります。なお、前連結会計年度に「新規事業・その他」に含めていたIP創出プラットフォーム事業は、同事業に属する「エプリスタ」を運営する株式会社エプリスタの全保有株式を、2021年12月14日付で譲渡し、同社に対する支配を喪失したことから、当第3四半期連結累計期間の業績には含んでおりません。

4 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

② 1株当たり利益

親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (百万円)	26,666	7,287
基本的期中平均普通株式数 (株)	119,210,503	116,572,424
希薄化性潜在的普通株式の影響 : ストック・オプション等	128,617	109,140
希薄化後の期中平均普通株式数	119,339,120	116,681,564
親会社の所有者に帰属する1株当たり 四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益	223.69	62.51
希薄化後1株当たり四半期利益	223.45	62.45

③ 重要な後発事象

該当事項はありません。